

知り合う

「義認」と「聖化」は表裏一体であると言われてきました。

(a) この事は何を意味しますか？

(b) 福音を説明するために、この概念をどのように使うことができますか？

(c) クリスチャンを保証し、諭すために、この概念をどのように使うことができますか。

グループの全員が、"義認 "と "聖化 "という言葉の意味を理解していることを確認してください。 ローマ8:1-5、1コリント6:11などの箇所を考えてみるとよいでしょう。

聖句 - コロサイ人への手紙1:21-23 (聖書協会共同訳)

21 ですから、あなたがたは揺るぐことなく、しっかりと信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられており、私パウロはそれに仕える者となったのです。22 今私は、あなたがたのために喜んで苦しみを受けており、キリストの体である教会のために、キリストの苦難の欠けたところを、身をもって満たしています。23 私は、自分に与えられた神の計画に従って、教会に仕える者となりました。あなたがたに神の言葉を余すところなく伝えるためです。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. 復習

この手紙は、使徒パウロがキリストを信じる人々に宛てて（コロサイ1:2、4、8）彼らが、真の福音をより深く信じ、神に喜ばれる生き方をするように書いたものです。(コロサイ 1:10）とりわけパウロは、十字架上で血を流されたキリストが、彼らを神と和解させる上で最も重要であることを伝えようとしました。(コロサイ 1:13-20)

2. ディスカッション

(a) コロサイのキリスト教会のすべてのメンバーは、パウロの手紙が最初に読まれたとき、真の福音を同じ理解の上に立って、信じていたと思いますか？それはなぜですか？

(b) パウロの手紙に真剣に心を傾けた人々は、真の福音をより正確に理解し、信じるようになったと思いますか？もしそうであるならば、その手紙はどのように役に立ちましたか？

(c) 仮にパウロが牢獄から釈放されて、コロサイのキリスト教会を訪ねたとしましょう。 そこにいた人々の誰が本当に福音を理解し、信じているのか、パウロはどのように見分けたでしょうか。

(d) 真の福音を理解し、信じることなしに、神に喜ばれる人生を送ることは可能でしょうか？(ヘブル11:6)

(e)神によりいっそう従順になることなく、真の福音を理解し、信じることは可能でしょうか？

成長

今日学んだことを踏まえて、祈りの中で：

- ❖ 何を告白できますか？
- ❖ 神のどんなところを心から賛美できますか？
- ❖ 神に感謝できることは何ですか？
- ❖ 主により仕えるにはどうしたらよいでしょうか？

祈りの課題を集めて、お互いのために祈りましょう。